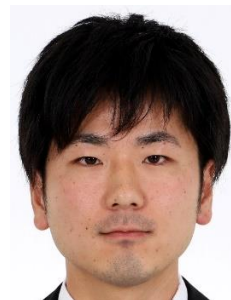


齋藤 稜さん（山口県山口市出身）
2018 年度 3 次隊 青年海外協力隊
派遣国：ボツワナ 職種：木工
2020 年 2 月 23 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

工夫する力 伸ばしたい

「先生、見てよ。次はこんなテーブルが作りたいんだ」。授業前に 1 人の生徒が紙に書いたスケッチを見せてきた。まだ細かいところまで詰めていない 1 枚のスケッチだが、生徒が自発的に自分のアイデアを持ってきてくれたことがうれしい。

私は青年海外協力隊員として南部アフリカのボツワナ共和国に派遣されている。配属先はマロベラ職業訓練校という首都ハボローネから車で 8 時間ほどかかる田舎の訓練校である。学校の周囲は背の低い木々に覆われ、土やセメントで作られた家がまばらにある。その中を牛やヤギ、鶏が歩き回っている。



キャプション：授業で塗装の仕方を教わる生徒

ほとんどの生徒は校内の寮に入るか周辺の家を間借りするかしており、親元を離れて生活している。ボツワナは世界有数のダイヤモンド産出国として知られ、国の経済もダイヤモンドに大いに依存している。家具や建材、木材の多くを南アフリカや中国からの輸入に頼っているのが現状である。

授業では木工の基礎知識を教え、家具を製作する。国内の物産展で販売もしている。生徒には木工だけでなく、授業や製作を通じて「積極的に考える姿勢」や「自ら工夫する力」を伸ばしてほしいと思う。まだまだ失業率の高いこの国で、一人一人の生徒が自分の未来の漠然としたイメージを少しずつ固める手伝いをしていきたい。